



▲平成28年度末の完成を目指す府中駅南口第一地区市街地再開発ビル完成予想図

平成25年 第2回定例会 第6次府中市総合計画基本構想の策定についてなど 11議案を審議

今定例会で市長から、「第6次府中市総合計画基本構想の策定について」の議案が提出されました。

この議案について、現在の府中市基本構想は平成13年6月に策定したものであり、25年度が最終年度となつていま

す。26年度以降の府中市基本構想については、多くの市民の皆様からのご意見を参考に府中市総合計画審議会において審議され、市民と市が協働してまちづくりを進めるための基本的な理念として、25年3月22日に答申が府中市長に提出されました。この答申の内容を尊重し、原案と位置付け議案として提案されたものです。

総務委員会での審査の中で、「基本構想は、『市民と市が協働して市民の視点に立ったまちづくりを進めるために、基本的な理念を明らかにし、本市の目指す新しい都市像と将来の基本目標を示すもの』であり、本市のまちづくりの基本理念を4つの視点で構成している。

理念の1つ目として、『市民が主役のまち』とし、市民がまちづくりを主体的に進めていくことが基本となっており、市民が市とのコミュニケーションを深めながら、自ら考え参加することで、市と協働してまちづくりを進めていく。2つ目として、『絆で結ば

れたまち』とし、世代を超えた交流を大切にし、家族や地域コミュニティで互いに尊重し合う、強い絆で結ばれたまちづくりを進めていく。

平成25年第2回市議会定例会は、6月3日から19日までの17日間の会期で開催されました。
市長提出議案は、第6次府中市総合計画基本構想の策定について、府中市子ども子育て審議会条例など11件を審議した結果、可決6件、同意5件となりました。
また、陳情5件が審議されました。

がありました。

(関連記事5ページ)

人事議案

3つ目として、『誇りと愛着の持てるまち』とし、先人から受け継いできた貴重な財産を守り育て、活かしながらかみ続けたい、訪れてみたいと思えるまちづくりを進めていく。

4つ目として、『安全安心なまち』とし、自助、共助、公助の下、安心して暮らせるよう、地震や水害などの自然災害に備えるとともに、日々の生活でも防火や防犯、交通安全の確保など、あらゆる分野で安全・安心のまちづくりに取り組んでいく』等の説明

定例会最終日の本会議に、市長から固定資産評価員の選任の同意を求める議案が1件、人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が4件提出され、次の方々が同意されました。

■固定資産評価員

吉野 誠氏(58歳)

■人権擁護委員候補者

鎌内 厚氏(65歳)

今井 千草氏(63歳)

水野 洋子氏(62歳)

鈴木 周氏(43歳)

ご覧ください

議会インターネット中継

府中市議会では、市民の皆様にとってより身近で、開かれた議会を目指し、今定例会より本会議のインターネット中継の配信を実施しています。

配信内容には、生中継と録画中継があり、録画中継については本会議終了後おおむね3日以降(土・日・祝日を除く)にいつでもご覧いただけます。

アドレス

http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai

